

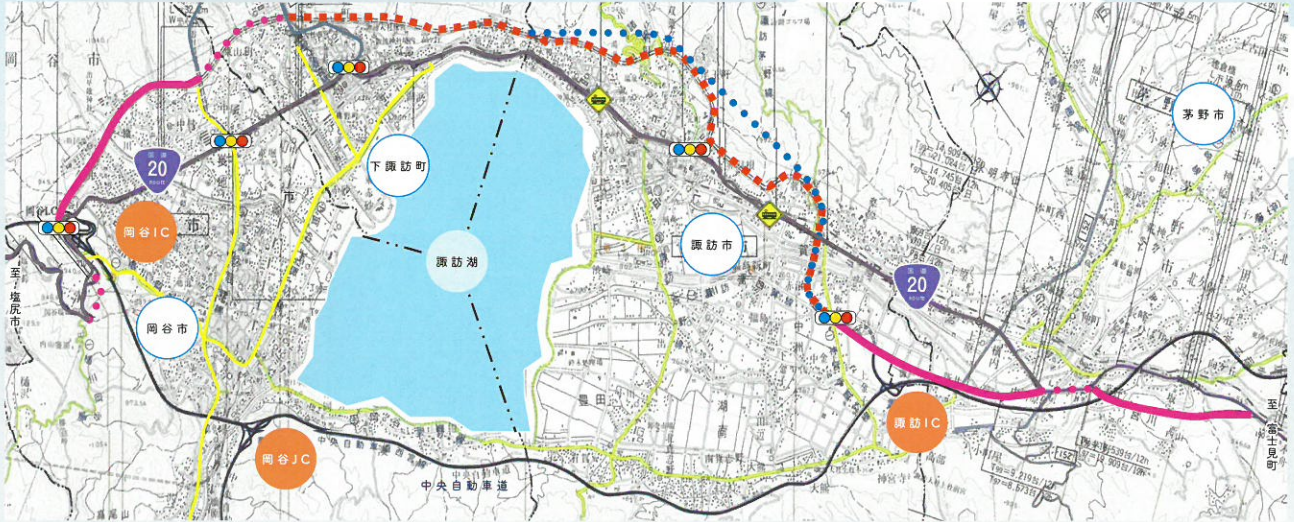
広報

諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



～動き出した「諏訪バイパス」事業～



国道20号諏訪バイパスの現状と早期整備の必要性

諏訪バイパスは、茅野市宮川中河原地籍の国道20号中河原北交差点から、下諏訪町東町中地籍の国道142号に接続する約14K mの区間をいいます。

その内、中河原北交差点から飯島交差点までの約3K mは、中央自動車道諏訪インターチェンジ開設時に整備され、その先、飯島交差点から国道142号までの約11K mがこれから、整備される区間です。

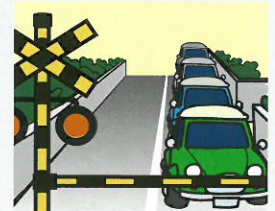
この区間について、今年度、国の事業である諏訪バイパスの事業着手へ向け、計画段階評価を進めるための調査へと前進し、地域の皆様からご意見を伺う「アンケート調査」などが実施されることになりました。

諏訪バイパスの早期整備は、諏訪圏域の交通ネットワークの確立とともに、災害時の緊急輸送道路の機能確保、市街地の渋滞回避、交通安全の向上、周辺地域の環境改善等、重要な社会基盤整備であるとともに、近隣圏域の経済発展に大きく寄与する道路です。

これから予定されている「アンケート調査」について、諏訪市、下諏訪町の住民の皆様、そして、交通・観光事業等の皆様のご協力をお願いするとともに、早期事業着手と整備促進へのご理解とご支援をお願いいたします。

発行主体

諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・
下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町



一般国道20号の状況

国道20号の現況（交通状況）と解決すべき課題について

- ① 諏訪地域では、主要渋滞箇所（イライラ箇所）として、4区間、12箇所が特定されています。
- ② 平成18年7月豪雨災害では、3箇所が冠水し、2箇所が約37時間の全面通行止めとなりました。
- ③ 歩道等の未整備による交通安全対策への危惧があります。



下諏訪岡谷バイパス供用状況



坂室バイパス供用状況



四ッ角交差点の交通状況



承知川付近冠水(H18豪雨)



湯の脇・大踏切の交通状況



上諏訪駅付近冠水(H18豪雨)



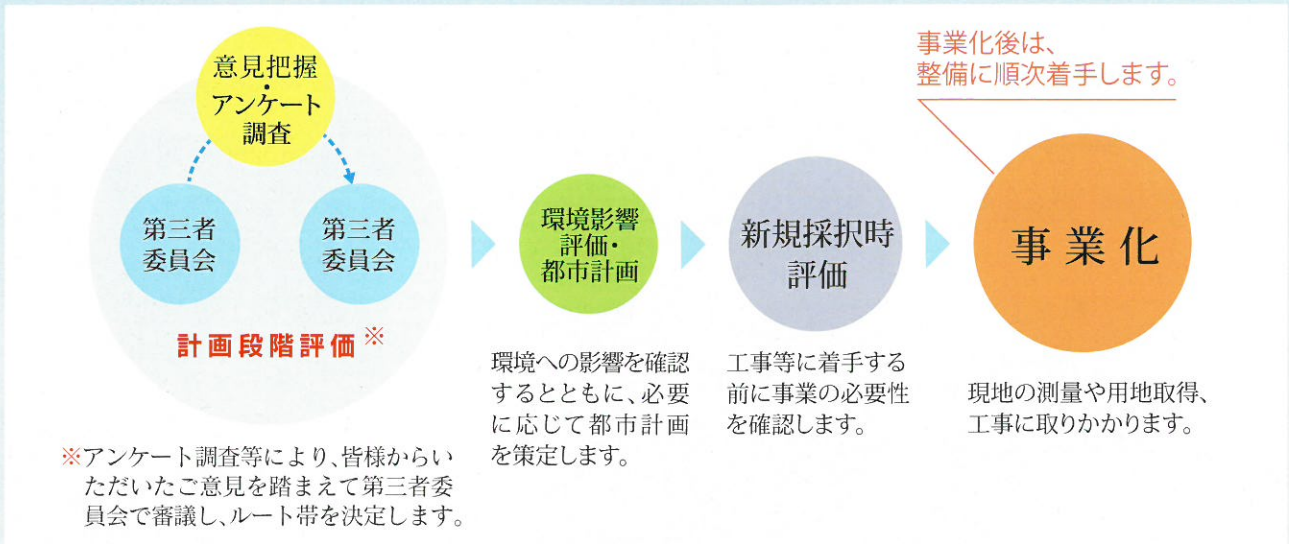
元町交差点付近交通状況

新規の道路（諏訪バイパス）の整備効果

- ① 交通網、交通体系が整備され、地域の利便と生活環境・交通安全性が向上します。
- ② 災害時の代替道路として緊急輸送路が確保できます。
- ③ 国道バイパスが全線につながり、地域間の結びつきが強化されます。
- ④ 流通の向上により、産業の競争力が高まり、地域産業の活性化につながります。
- ⑤ 地域内観光地の連携により、新しい旅の提案と地域間交流が図られ、観光の活性化につながります。
- ⑥ 地域医療への支援、医療サービスが向上します。

事業化までの流れ

国の事業である諏訪バイパスは、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、「計画段階評価」が実施されますが、それを進めるための調査費が本年度国で予算化されました。（下記、フロー図を参照）



下諏訪岡谷バイパスの整備状況

現在、事業着手（一部供用）されている下諏訪岡谷バイパスの整備状況をお知らせいたします。

- ※注1 現在詳細設計に向けた、地元との調整及び各種調査を行っています。
- ※注2 改良工事及び橋梁の下部工事を行っています。



期成同盟会から

本年5月に諏訪バイパスの事業着手に向けた計画段階評価を進めるための調査に入ることが発表され、国道20号の現況を懸念した諏訪バイパスの整備に向けて国も動き出しました。

我々、期成同盟会としては、本事業について推進の立場であるものの、より良い地域作りの観点に立ち、地域住民の皆様に広く事業の効果や必要性などを周知することが必要であるという認識のもと広報「諏訪バイパス」を発行させていただきます。

諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会	会長 渡 辺 芳 紀
下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会	会長 山 田 貞 幸
下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会	会長 林 喜 八 郎

問合せ先

諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進同盟会事務局（諏訪市 建設部 国道バイパス推進室）
 TEL：0266-52-4141（内線261）／FAX：0266-52-8164／E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局（下諏訪町 建設水道課 関連調整係）
 TEL：0266-27-1111（内線244）／FAX：0266-28-8783／E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp

広
報

諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass

発行主体：諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会
下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

計画段階評価(関東地方小委員会開催なる。)が始まりました。

国土交通省関東地方整備局では、11月15日(金)に、「社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会」が開催されました。委員会では、諏訪バイパスに関する地域課題(災害・渋滞・産業・医療等)及び政策目標の案、意向調査の内容及び広報活動の方法等が審議されました。今後は地域住民の声を反映する目的で「住民アンケート等」が行われます。諏訪地域の課題と道路整備に関する大切な調査になりますので、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

【関東地方小委員会で審議された政策目標の案】

- ① 災害に強い道路ネットワークの強化
- ② 交通混雑を緩和し、交通の円滑化
- ③ 交通事故を減少
- ④ 高速道路ICまでの定時性向上
- ⑤ 高次救急医療機関への速達性向上、夜間騒音の改善



関東地方小委員会の様子

バイパス建設促進に向けて活動を行っています。



↑ 県要望・両期成同盟会による共同記者会見

8月19日、長野県建設部並びに長野国道事務所への要望活動を行いました。

終了後、諏訪市・下諏訪町の各期成同盟会と諏訪市・下諏訪町による共同記者会見を開催し、諏訪バイパス・下諏訪岡谷バイパスの建設促進に向けて、なお一層の連携した活動を行うことを表明しました。

↑ 国交省・財務省等中央要望活動

10月8日・9日、国土交通省・財務省・関東地方整備局へ諏訪バイパス・下諏訪岡谷バイパスの建設促進の要望活動を行いました。国土交通省道路局の徳山局長からは、「交通状況と早急な整備について(道路建設を)お待たせして申し訳ない。」「新年度予算はきちり確保して期待に応えたい。」という、大変前向きなお言葉をいただきました。



国土交通省道路局 徳山局長への要望

この広報は、地域住民の皆様に諏訪バイパス・下諏訪岡谷バイパス事業の進捗状況や活動状況などをお知らせいたします。バイパス建設促進に向け、皆様のご理解とご協力をお願いします。

☆国道20号バイパスの整備状況をお知らせします。

↑ 下諏訪岡谷バイパス第一工区の状況

下諏訪岡谷バイパスの内、下諏訪町東町地籍から岡谷市今井地籍 1.7km 区間を第一工区としており、現在は、地元の皆様と設計協議を進めております。

本年度は、各地区から出された要望を修正設計に反映させる為の地質調査を行いました。



地質調査を見学に来た小学生



地元対策委員会への設計説明会

↑ 下諏訪岡谷バイパス第三工区の状況

岡谷塩嶺病院付近の第三工区は（0.8km）は、既存の大曲ヘアピンカーブを解消するため、やまびこ公園入口から岡谷インターに続く下り坂までを橋梁でつなげます。

現在は、擁壁や盛土工事が行われ、橋の基礎部分は26年度までに完成予定で、それ以降に上部工に移って行く計画となっております。



第三工区橋の基礎部分

↑ 諏訪バイパスの状況

国の事業である諏訪バイパスは、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、「計画段階評価」が始まりましたが、今後、住民の皆様の声を知る事業としてアンケート調査等が行われます。これを受け、諏訪市及び下諏訪町では、それぞれに住民を対象とした説明会を開催しています。



諏訪市における「市長と語る夕べ」の様子



下諏訪町における「行政報告会」の様子

問合せ先

◆諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局（諏訪市建設部国道バイパス推進室）
TEL：0266-52-4141（内線261）／ FAX：0266-52-8164／ E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

◆下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局（下諏訪町建設水道課関連調整係）
TEL：0266-27-1111（内線244）／ FAX：0266-28-8783／ E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp

広報

諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass



発行主体：諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会
下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

地域の意見聴取(アンケート)にご協力をお願いします。

国土交通省では、一般国道20号の諏訪市四賀から下諏訪町東町までの、約11kmを対象として、計画段階評価が行われています。この計画段階評価は、地域の皆さんの声で「諏訪地域の未来を支えるみちづくり」を進めるために行われるもので、「地域の意見聴取」は、地域住民の声を反映する目的で行われます。

第1回目の意見聴取の内容は、次の4つの項目です。

- ①地域の課題について
- ②政策目標の案について
- ③道路整備の必要性について
- ④検討に当たって配慮すべき事項等

第2回目以降の意見聴取では、それまでの意見聴取の結果を受けて、地域の課題を解決するにふさわしい複数の対策案について皆さんから評価して頂く予定です。



平成18年7月豪雨災害(国道冠水)

↑ 期成同盟会は、「地域の課題」として

- ①平成18年7月豪雨災害等の教訓を踏まえ災害時の緊急輸送路確保の重要性
 - ②交通の集中やJR踏切2か所の平面交差による交通渋滞の発生
 - ③国道20号渋滞・雑踏の回避で県道や市道の大型車通行による事故多発
 - ④幅員不足による右折レーンの設置や歩道の整備等の安全対策が脆弱
- などを、長年の要望活動において国に訴えてきました。

↑ 道路整備の必要性について



JR踏切遮断による交通渋滞

現国道20号は、諏訪市四賀地区から下諏訪町にかけて市街地を通過し、沿線には住宅や商店街が形成され、かつJR中央東線が並行しているため狭隘で、現道を拡幅・整備する事業は、沿線建物の移転や用地確保に莫大な費用が想定され、極めて困難とされます。

期成同盟会では、課題を解決するには、バイパスを新たに整備することで代替道路の確保、交通の円滑化による渋滞解消、通過交通量の減少による交通安全の確保の実現が可能になるとしています。

地域の意見聴取(アンケート)への皆様のご参加とご意見をお願いいたします。

この広報は、地域住民の皆様に諏訪バイパス・下諏訪岡谷バイパス事業の進捗状況や活動状況などをお知らせします。バイパス建設促進に向け、皆様のご理解とご協力をお願いします。

☆諏訪バイパスの整備の必要性と効果

↑ 人にやさしいまち、住みよいまちづくりのために

現国道20号の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、生活道路へ回する車を少なくすることで、生活道路が本来の機能を取り戻し、地域の安全性や利便性、道路環境（騒音、振動、排気ガスなど）を向上させることができます。

また、旧国道でのイベントやお祭りの開催が可能となり賑わいの創出が期待されます。



西茅野土地区画整理事業(公園と道路)

↑ 利便性の向上と都市機能の充実のために

坂室バイパスの整備効果

- ①開通1ヶ月後の坂室BPの交通量は約16,200台/日
- ②通過交通がBPへ転換したことから、現道20号の交通混雑が大幅に緩和
- ③これにより、現道20号の大型車交通も減少し、歩行者・自転車の安全性が向上

バイパスの建設は、利用者にとってもそこに住む人々にとっても大きな効果を生み出します。地域にとっては通過するだけの車が減ることによって新たなまちづくりが進められ、安全で快適なまちの環境が整備され、利用者にとっても安全性や通過時間の短縮などの利便性の向上が図られるなど、バイパスが持つ効果はいろいろな所へ作用し、まちづくりに生かされていきます。

また、豪雨災害など災害時に急患、物資の緊急輸送路として利用できることから、社会基盤としての整備をすることにより、災害に強いまちづくりも可能となります。

↑ 地域経済の活性化を図るために

広域におよぶ幹線道路の機能と、生活道路が持つ機能を分けることで、交通の分散化や円滑化を図ることができます。その効果として、通過時間が短縮され、物流にかかわる経費が節減できるといった経済効果をもたらします。

中央自動車道などのネットワーク化により、広域での文化交流や観光客の誘客、産業物流などが促進され、諏訪圏域の総合的な経済発展への効果も期待できます。



茅野市坂室バイパス周辺の完成イメージ

子どもが、学生が、お年寄りが、観光客が、住民が、安心して通行できるために、
そして地域経済の活性化を図るために、諏訪バイパスを早期実現しましょう。
みなさんのご理解と、ご協力が必要です。

問合せ先

- ◆諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局（諏訪市建設部国道バイパス推進室）
TEL：0266-52-4141（内線261）／ FAX：0266-52-8164／ E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp
- ◆下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局（下諏訪町建設水道課関連調整係）
TEL：0266-27-1111（内線244）／ FAX：0266-28-8783／ E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp

広報

諏訪バイパス

Public relations magazine Suwa bypass

発行主体

◆国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会(諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会)
◆下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会 ◆諏訪市 ◆下諏訪町

第2回 関東地方小委員会開催される

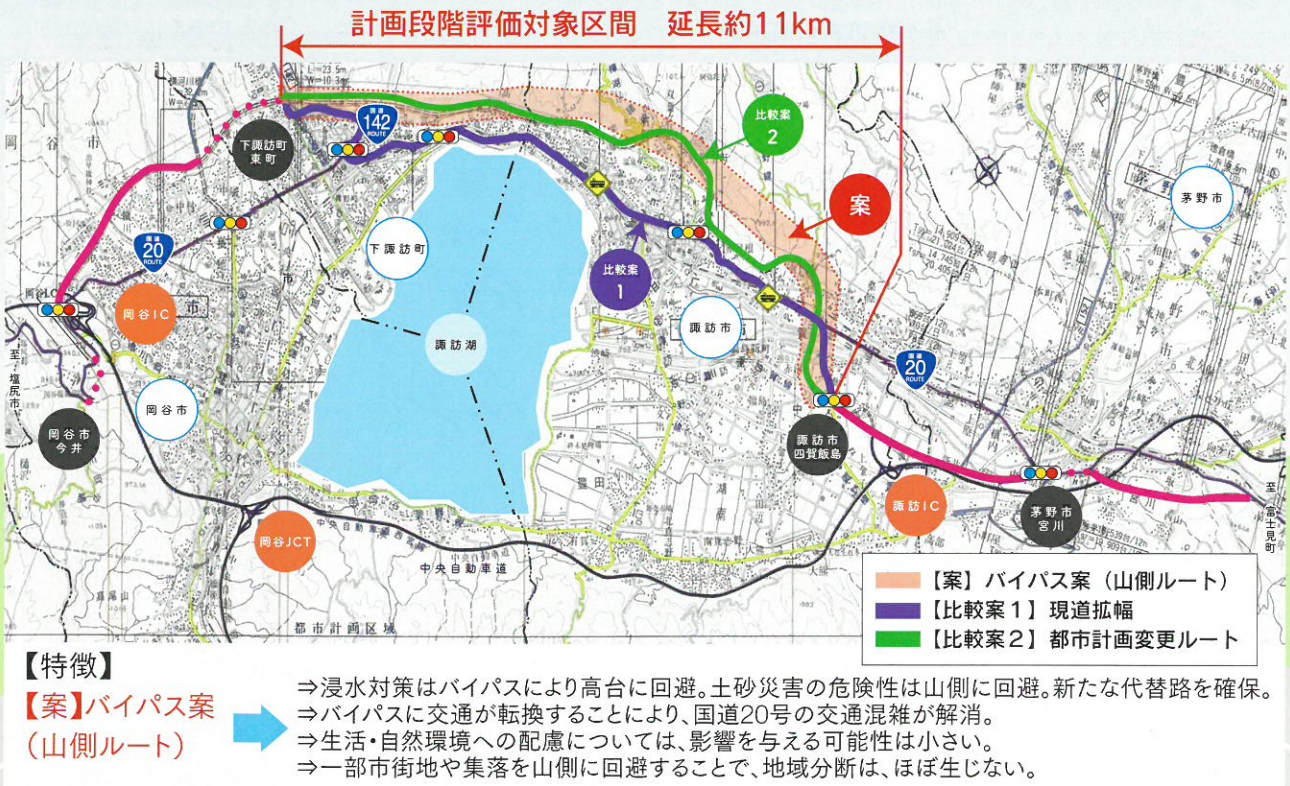
7月17日、委員会による現地視察を行った上で、岡谷市カラホールにおいて第2回社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会が開催され、道路計画づくりへ地元住民のみなさんの意見を聞く意見聴取の結果が発表されるとともに、意見聴取で出された諏訪地域の課題を解決するための対応方針とルート帯案が、国土交通省関東地方整備局から示されました。



関東地方小委員会の様子

ルート帯案の概要

【案】バイパス案(山側ルート) 諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案



第2回目の地域の意見聴取(アンケート)にご協力をお願いします

- 第2回目の地域の意見聴取(アンケート)が実施されます。
意見聴取の内容は、第1回意見聴取結果の妥当性の確認、第1回意見聴取を踏まえた政策目標を達成するための機能を有する道路として作成したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかの確認です。
- 「地域の意見聴取」は、地域住民の声で「諏訪地域の未来を支える道づくり」を進めるために行われているものです。第2回目の地域の意見聴取後、その結果を踏まえた関東地方小委員会での審議を経てルート帯が決定されることとなります。

地域の意見聴取（アンケート）結果の概要

国土交通省長野国道事務所が、国道20号諏訪バイパスの未着手区間（諏訪市四賀一下諏訪町東町間の約11km）の整備に向けて2～3月に諏訪市、下諏訪町の住民のみなさんや事業者の方々を対象に実施した第1回意見聴取の結果が発表されました。

道路整備の必要性に関する調査では、回答いただいた住民の方の約8割、事業者の方の約7割が「道路整備が必要」と回答されており、道路利用者の多くの方が道路整備の必要性を感じているという結果が出ました。

調査票の配布 回収数

【住民等】

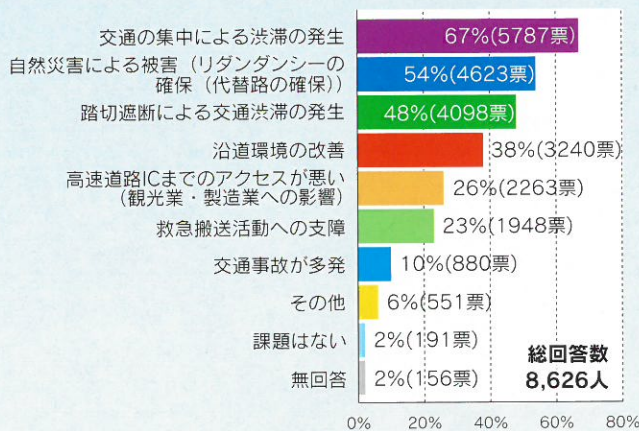
調査票形式		配布回収数(カッコ内)は回収率	
郵送配布	配布数	33,713部	回収総数 8,626部
郵送回収	回収数	8,142部 (24%)	
留置き	回収数	188部	
Web	回収数	296部	

【事業者等】

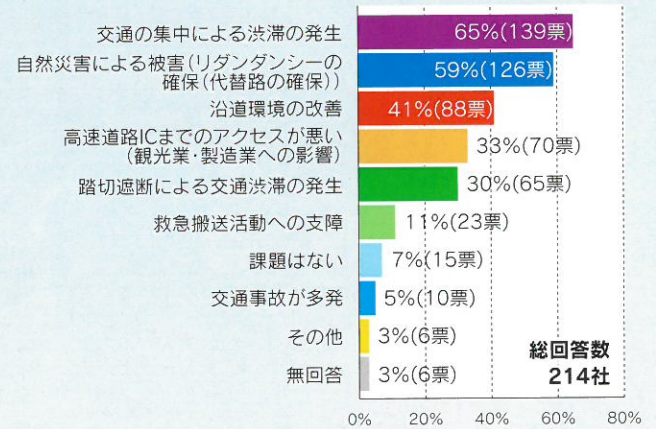
調査票形式		配布回収数(カッコ内)は回収率	
郵送配布	配布数	599社	
郵送回収	回収数	214社 (36%)	

地域が感じている国道20号の課題

【住民等】

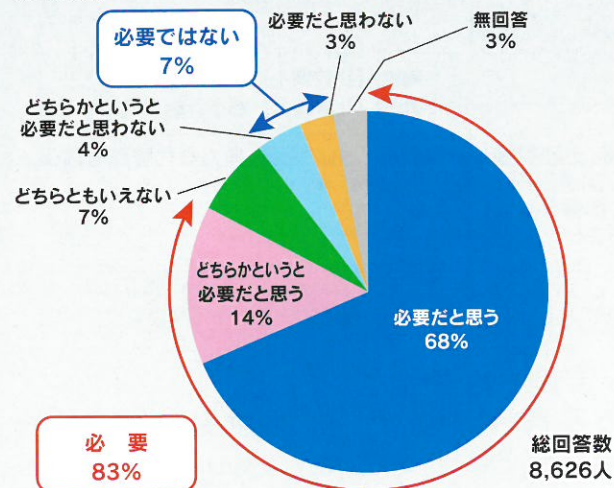


【事業者等】

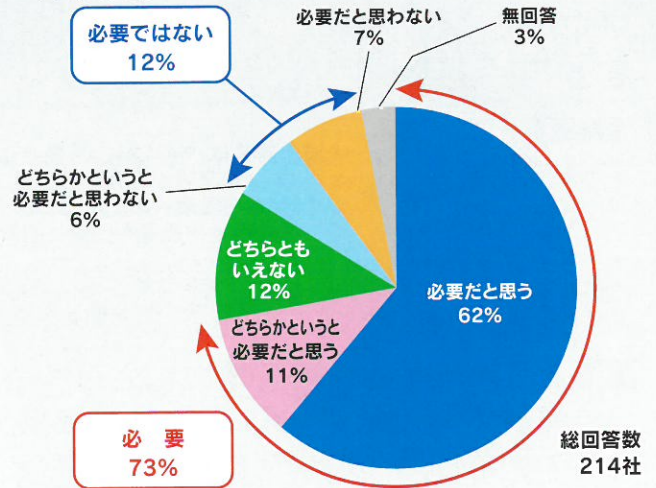


地域が感じている道路整備の必要性

【住民等】



【事業者等】



意見聴取のまとめ

住民や事業者など道路利用者の多くが道路整備の必要性を認識



諏訪地域の政策目標を達成するための機能を有するルートを検討

一般国道20号(諏訪市～下諏訪町間)の課題と目標

道路について

踏切遮断による交通渋滞の発生

諏訪市内の国道20号には、踏切が2箇所あり、一旦停止による走行環境の妨げや踏切の遮断による渋滞が発生しています。



赤羽根踏切の状況
(諏訪市赤羽根)

交通の集中による渋滞の発生

諏訪湖周辺では、南北に移動する道路が限られており、主要幹線道路である国道20号に交通が集中し、渋滞が発生しています。



国道20号の交通渋滞の状況
(下諏訪町菅野町)

交通事故が多発

国道20号は、沿道へ出入りする車両や渋滞で並んでいる車両などへの追突事故が多発しています。



沿道出入りによる混雑の状況
(下諏訪町上馬場)

目標 ▶ 交通の円滑化

目標 ▶ 交通安全の確保

防災について

自然災害による被害

平成18年7月の豪雨では、浸水被害により、国道20号の2箇所約37時間に渡り、全面通行止めが発生しました。



平成18年7月豪雨の被害状況
(諏訪市諏訪1丁目)

リダンダンシーの確保 (代替路の確保)

首都圏と中京圏を結ぶ第一次緊急輸送道路である国道20号や中央自動車道が断絶した場合、大規模な迂回が必要になります。



諏訪湖周辺の道路網断絶時における迂回状況

目標 ▶ 災害に強い代替路の確保

地域について

沿道環境の改善

夜間でも大型車が多く走行しており、騒音などの沿道環境の問題が発生しています。



大型車走行の状況
(諏訪市元町)

救急搬送活動への支援

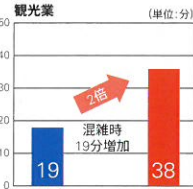
交通の集中による渋滞や、踏切や幅員の狭い道路などの速達性が悪く、救急搬送活動に影響があります。



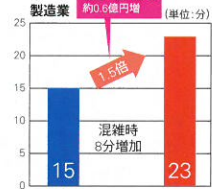
救急車両による搬送のイメージ

観光業・製造業への影響

高速道路ICまでのアクセスが悪いため、高速道路ICから諏訪湖や諏訪大社など、観光地までの移動時間がかかり、観光業への影響が考えられます。また、工業団地への移動においても、入出荷に時間がかかるため、製造業への影響が考えられます。



諏訪IC～諏訪大社下社秋宮の所用時間(休日国道20号利用)



諏訪市・下諏訪町境～岡谷IC
諏訪市・下諏訪町境～高速道路IC間の所用時間(平日国道20号利用)



諏訪市・下諏訪町境～諏訪IC間の所用時間(平日国道20号利用)

目標 ▶ 安心・快適な暮らしづくり

目標 ▶ 地域産業の活性化

諏訪地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯を設定

計画段階評価対象区間 延長約11km



- 【案】バイパス案(山側ルート)
- 【比較案1】現道拡幅
- 【比較案2】都市計画変更ルート

【案】バイパス案(山側ルート) 諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会が発足しました。

国道20号諏訪バイパスは、昨年度、国土交通省が実施する「計画段階評価」に入り、地元の意向を把握する目的で住民の皆さんを対象とした意見聴取が行われ、今後は対応方針が決定されれば、事業化に向けて、更に大きく動き出すこととなります。こうした動きを受け、諏訪市・下諏訪町のそれぞれの期成同盟会が一つになり、協力して国道20号諏訪バイパスの建設促進を図ることを目的に、「国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会」の設立に向けた準備を進め、4月23日、設立総会を開催し新たな組織として発足しました。



設立総会の様子

国土交通省・財務省等中央要望を行いました。



国土交通省 徳山前道路局長へ要望

6月24日、新たな組織として発足した「国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会」と「下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会」合同で、国土交通省・財務省・関東地方整備局へ諏訪バイパス・下諏訪岡谷バイパスの建設促進要望を行いました。

関東地方整備局の後藤道路部長からは、「バイパス建設促進への皆さんの想いは伝わっている。」「諏訪バイパスについて

は、地域の皆さんの声をしっかりと聞きながら、現道20号の渋滞、災害等の状況も踏まえて計画段階評価を進めて行きたい。」「下諏訪岡谷バイパス第3工区(塩嶺改良)は平成29年度供用に向け事業を進めている。第1工区についても、今年度内の用地買収着手に向け、測量など順次行っていく予定である。」「皆さんのご協力を得ながら、皆さんの想いを大切に受け止め進めていきたい。」というお言葉をいただきました。



国土交通省関東地方整備局
後藤道路部長へ要望

問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局
諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL : 0266-52-4141 (内線261) / FAX : 0266-52-8164 / E-mail : bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課関連調整係

TEL : 0266-27-1111 (内線246) / FAX : 0266-28-8783 / E-mail : kanren@town.shimosuwa.lg.jp